

1 基本項目	事務事業名	簡易水道管理事業			担当部署	課名	水道課	
	予算事業名	簡易水道一般管理費、簡易水道施設維持管理費、簡易水道施設整備事業				係名	業務係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1013	
	事業期間	開始年度	昭和32年度	終了年度		当面継続	会計	簡易水道事業特別会計
	総合計画	目標名	基本目標2. 安全で快適な暮らしやすいまち			科目	簡易水道費	
	画	政策名	政策07. 魅力ある都市基盤の充実			項目	簡易水道管理費	
	根拠法令	施策名	施策17. 水道水の安定供給			目	一般管理費	
	基本事業名	基本事業17-2. 安定した水道事業経営			総合計画等への記載	総合計画実施計画に記載		
	アウトソーシング導入状況	導入済(業務委託)			この事務事業が関連するその他の計画等	行政改革集中プラン		

2 事業概要	事業概要	簡易水道事業の運営(維持・管理)	
	対象	①簡易水道使用者 ②簡易水道施設	
	手段(活動指標)	①使用料の計算、収納事務 ②施設の維持管理、水質検査、漏水修理及び量水器の取替業務。	
	意図(成果指標)	①清浄な水を安定的に供給する。 ②施設が適切に維持管理される。	

3 指標	指標名	単位	H27年度		H28年度			H29年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動指標	① 量水器メーター検針件数	件	2,880	2,421	2,700	2,410	89.3%	2,580	
	② 水質検査の実施回数	回	120	120	120	120	100.0%	120	
	③								
	成果指標	① 普及率	%	96.0	96.0	96.0	92.6	96.5%	96.0
		② 水質検査の合格率	%	100	100	100	100	100.0%	100
		③							

4 コスト情報	区分	単位	H27年度		H28年度			H29年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	8,567,000	9,532,558	9,814,000	5,411,302	-43.2%	9,832,000
	② 委託料	円	3,671,000	2,281,872	3,321,700	2,687,679	17.8%	3,061,000
	③ 工事請負費	円	0	0	0	0		0
	④ 負担金補助及び交付金	円	7,000	7,000	7,000	0	-100.0%	7,000
	⑤ その他	円	515,000	341,102	1,015,300	914,268	168.0%	516,000
	支出合計 (A)	円	12,760,000	12,162,532	14,158,000	9,013,249	-25.9%	13,416,000
財源内訳	① 国庫支出金	円	0	0	0	0		0
	② 県支出金	円	0	0	0	0		0
	③ 地方債	円	0	0	0	0		0
	④ その他(使用料、雑入等)	円	12,760,000	12,162,532	14,158,000	9,013,249	-25.9%	13,416,000
	⑤ 一般財源	円	0	0	0	0		0
	収入合計	円	12,760,000	12,162,532	14,158,000	9,013,249	-25.9%	13,416,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	7	8	8	8	0.0%	8
	② 年間所要時間	時間	2,250	1,950	1,950	1,950	0.0%	1,950
	③ 人件費(②×@ 4,400円)(B)	円	9,900,000	8,580,000	8,580,000	8,580,000	0.0%	8,580,000
	総費用(A+B)	円	22,660,000	20,742,532	22,738,000	17,593,249	-15.2%	21,996,000

5 取組内容	平成28年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	簡易水道取水施設及び配水施設などの維持管理、原水浄水の水質検査、漏水修理及び量水器の取替えなどを行った。簡易水道利用者に対する使用料の請求及び徴収を行った。	

6 評価	評価の視点	H27評価	H28評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	
目的の妥当性					1 妥当である		
対象の妥当性					1 妥当である		
有効性	有効性	C	C	目標達成度	2 目標どおり		
				類似事業の有無	2 検討の余地あり	水道事業	
				上位施策への貢献度	3 低い	対象となる人数が少ないため。	
効率性	効率性	B	B	コスト効率	2 普通	入札、競争的随意契約等でコスト削減に努めている。	
				実施主体の適正化	1 適正である		
				負担割合の適正化	2 改善の余地あり	地方公営企業法適用の期限が迫っており、上水道との統合を進める中で料金体系の見直しが必要となってくる。	
	1次評価(課長総括)	B	B	管理運営の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要	
	今(課後)の課題及び評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、事業の効率化と安定した事業運営の継続に努める。料金については、一部見直しを検討していかなければならない。</li> <li>・簡易水道はソフトによる上水道への統合を検討する。</li> <li>・人件費については簡易水道事業で計上されておらず、水道事業で負担している状況である。</li> </ul>				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	水道管理運営事業（ボトルドウォーター事業分除く。）			担当部署 課名 係名 電話番号 会 計 款 目 項 目	水道課	
	予算事業名	収益的収支				業務係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1013
	事業期間	開始年度	昭和29年度	終了年度		当面継続	水道事業会計（収益的支出）
	総合計画	目標名	基本目標2. 安全で快適な暮らしやすいまち			収益的支出（水道事業費用）	
	政策名	政策07. 魅力ある都市基盤の充実				款に含まれる項全て	
	施策名	施策17. 水道水の安定供給				項に含まれる目全て。但し、ボトルドウォーター事業分除く。	
	基本事業名	基本事業17-2. 安定した水道事業経営				総合計画等への記載	総合計画実施計画に記載
	根拠法令					この事務事業が関連するその他の計画等	行政改革集中プラン
	アウトソーシング導入状況	導入済（業務委託）					—

2 事業概要	事業概要	上水道事業の運営（維持・管理）	
	対象	①上水道利用者 ②上水道施設	
	手段 (活動指標)	①料金の計算、収納事務 ②施設の維持管理、水質検査、漏水修理及び量水器の取替業務。	
	意 図 (成果指標)	①清浄な水を安定的に供給する。 ②施設が適切に維持管理される。	

3 指標	指標名	単位	H27年度		H28年度			H29年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 調定件数	件	88,476	89,409	90,648	89,444	98.7%	90,000
	② 水質検査の実施回数	回	36	36	36	36	100.0%	36
	③							
	① 普及率	%	89	89	89	88	98.9%	88
	② 水質検査の合格率	%	100	100	100	100	100.0%	100
	③							

4 コスト情報	区分	単位	H27年度		H28年度			H29年度	
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額	
支出内訳	①需用費	円	53,133,000	32,311,486	54,713,631	37,967,512	17.5%	54,753,000	
	②委託料	円	44,056,000	36,838,343	49,693,928	45,771,295	24.2%	44,387,000	
	③工事請負費	円	9,950,000	3,450,600	10,873,800	1,873,800	-45.7%	9,000,000	
	④負担金補助及び交付金	円	462,000	321,670	777,000	361,740	12.5%	521,000	
	⑤その他	円	401,866,000	365,349,696	406,961,272	352,388,440	-3.5%	394,562,000	
	支出合計 (A)	円	509,467,000	438,271,795	523,019,631	438,362,787	0.0%	503,223,000	
	財源内訳	①国庫支出金	円	0	0	0	0		0
		②県支出金	円	0	0	0	0		0
		③地方債	円	0	0	0	0		0
		④その他（使用料、雑入等）	円	505,467,000	434,271,795	518,019,631	437,293,047	0.7%	499,023,000
⑤一般財源		円	4,000,000	4,000,000	5,000,000	1,069,740	-73.3%	4,200,000	
収入合計	円	509,467,000	438,271,795	523,019,631	438,362,787	0.0%	503,223,000		
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	9	9	9	9	0.0%	9	
	②年間所要時間	時間	9,050	8,120	8,120	8,120	0.0%	8,120	
	③人件費（②×@ 4,400円）(B)	円	39,820,000	35,728,000	35,728,000	35,728,000	0.0%	35,728,000	
総費用 (A+B)	円	549,287,000	473,999,795	558,747,631	474,090,787	0.0%	538,951,000		

5 取組内容	平成28年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	上水道取水施設及び配水施設などの維持管理、原水浄水の水質検査、漏水修理及び量水器の取替えなどを行った。 上水道利用者に対する使用料の請求及び徴収を行った。	

6 評価	評価の視点	H27評価	H28評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	
目的の妥当性					1 妥当である		
対象の妥当性					1 妥当である		
有効性	有効性	B	B	目標達成度	2 目標どおり	簡易水道事業	
				類似事業の有無	2 検討の余地あり		
				上位施策への貢献度	1 高い		
効率性	効率性	B	B	コスト効率	2 普通	入札、競争的随意契約等でコスト削減に努めている。	
				実施主体の適正化	1 適正である		
				負担割合の適正化	2 改善の余地あり		
1次評価 (課長総括)	B	B	管理運営の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要		
今(課後)の課題及び評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、事業の効率化と安定した事業運営の継続に努める。今後、企業債の支払利息の増加に伴う収支の悪化が見込まれることから、自主財源の確保に向け、水道料金の見直しについて、検討していかなければならない。</li> <li>総務省から平成32年4月までに簡易水道の地方公営企業法の適用が求められており、法適用に向けて準備を進める。</li> </ul>				評価結果		

1 基本項目	事務事業名	簡易水道事業			担当部署	課名	水道課
	予算事業名	簡易水道改良事業				係名	工務係
	事業区分	自治事務			電話番号	23-1014	
	事業期間	開始年度	平成24年度	終了年度	平成31年度	会計	簡易水道事業特別会計
	総合計画	目標名	基本目標2. 安全で快適な暮らしやすいまち			科目	簡易水道費
	画	政策名	政策07. 魅力ある都市基盤の充実			項目	簡易水道事業費
	根拠法令	施策名	施策17. 水道水の安定供給			目	簡易水道施設改良事業費
	アウトソーシング導入状況	基本事業名	基本事業17-1. 水道施設の整備			総合計画等への記載	総合計画実施計画に記載
	この事務事業が関連するその他の計画等	行政改革集中プラン					

2 事業概要	事業概要	老朽化し、また耐震性能の低い水道管、配水池などを計画的に更新をする。
	対象	老朽化した簡易水道施設（水道管、配水池等）
	手段（活動指標）	①老朽化した水道管を耐震性の高い水道管に更新。 ②配水池を耐震性の高い配水池に更新。
	意図（成果指標）	①漏水事故等を未然に防ぐことができる。 ②耐震化され、地震による断水等の被害を最小限にとどめる。

3 指標	指標名	単位	H27年度		H28年度			H29年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 配水池更新の実施設計	式	1	1	0	0		0
	② 当該年度までの老朽管更新延長	m	4,822	841	2,000	494	24.7%	950
	③ 配水池の更新	式	0	0	1	1	100.0%	0
	① 配水池更新の実施設計の委託	%	0	0	0	0		0
	② 老朽管の延べ更新率	%	84	75	81	77	95.1%	84
	③ 配水池築造工事の実施	%	0	0	0	0		0

4 コスト情報	区分	単位	H27年度		H28年度			H29年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円	0	0	0	0		0
	②委託料	円	5,000,000	3,780,000	0	0	-100.0%	20,000,000
	③工事請負費	円	65,000,000	56,405,160	90,000,000	78,020,280	38.3%	70,000,000
	④負担金補助及び交付金	円	0	0	0	0		0
	⑤その他	円	0	0	0	0		0
	支出合計 (A)	円	70,000,000	60,185,160	90,000,000	78,020,280	29.6%	90,000,000
財源内訳	①国庫支出金	円	0	0	0	0		0
	②県支出金	円	0	0	0	0		0
	③地方債	円	63,000,000	52,400,000	81,000,000	71,000,000	35.5%	83,000,000
	④その他（使用料、雑入等）	円	1,010,000	1,668,068	580,000	7,020,280	320.9%	678,000
	⑤一般財源	円	5,990,000	6,117,092	8,420,000	0	-100.0%	6,322,000
	収入合計	円	70,000,000	60,185,160	90,000,000	78,020,280	29.6%	90,000,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	6	7	7	7	0.0%	7
	②年間所要時間	時間	1,200	1,870	1,870	1,870	0.0%	1,870
	③人件費（②×@ 4,400円）(B)	円	5,280,000	8,228,000	8,228,000	8,228,000	0.0%	8,228,000
	総費用 (A+B)	円	75,280,000	68,413,160	98,228,000	86,248,280	26.1%	98,228,000

5 取組内容	平成28年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	漏水事故の多発する老朽管（塩化ビニル管）を耐震性能が高い高密度ポリエチレン管に更新する。	

6 評価	評価の視点	H27評価	H28評価	評価項目	評価結果	評価の理由		
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である		
目的の妥当性					1 妥当である			
対象の妥当性					1 妥当である			
有効性	有効性	C	C	目標達成度	3 低い・未実施	配水池の更新があった。		
				類似事業の有無	3 あり	上水道事業と統合を検討する。		
				上位施策への貢献度	2 普通			
効率性	効率性	B	B	コスト効率	2 普通	コストの安いポリエチレン管の導入を進めた。		
				実施主体の適正化	1 適正である	水道料金の増額を検討する。		
				負担割合の適正化	2 改善の余地あり			
1次評価（課長総括）	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要			
今（課後）の評価結果及び	・引き続き、老朽化及び耐震性の低い水道管、配水池等を計画的に更新していかねばならない。 ・総務省から平成32年4月からの簡易水道の地方公営企業法の適用が求められており、法適用に向けて準備を進める。				評価結果			

1 基本項目	事務事業名	増補改良事業				担当部署	課名	水道課	
	予算事業名	増補改良事業					係名	工務係	
	事務区分	自治事務					電話番号	23-1014	
	事業期間	開始年度	平成16年度	終了年度	平成29年度	予算科目	会計	水道企業会計（資本的支出）	
	総合計画	目標名	基本目標2. 安全で快適な暮らしやすいまち				款	資本的支出	
		政策名	政策07. 魅力ある都市基盤の充実				項	建設改良費	
		施策名	施策17. 水道水の安定供給				目	増補改良事業	
		基本事業名	基本事業17-1. 水道施設の整備				総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載
		根拠法令					この事務事業が関連するその他の計画等		—
		アウトソーシング導入状況	導入済（業務委託）						—

2 事業概要	事業概要	昭和28年度に開始された水道事業も60年が経過し水道管の漏水が多発しているため、老朽管の耐震管への更新を計画的に実施している。
	対象	老朽化した水道管
	手段（活動指標）	漏水事故が多発する鋳鉄管・塩化ビニル管などの老朽管の布設替（更新）を実施。
	意図（成果指標）	①漏水事故等を未然に防ぐことができる。 ②耐震化され、地震による断水等の被害を最小限にとどめる。

3 指標	指標名	単位	H27年度		H28年度			H29年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 当年度の老朽管布設替延長	m	2,000	2,520	850	1,312	154.4%	2,279
	②							
	③							
成果指標	① 老朽管の更新率	%	4	5	6	6	100.0%	7
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	H27年度		H28年度			H29年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	300,000	0	0	0		0
	② 委託料	円	1,000,000	0	1,000,000	0		0
	③ 工事請負費	円	199,060,000	151,289,640	88,826,760	87,417,360	-42.2%	280,000,000
	④ 負担金補助及び交付金	円	0	0	0	0		0
	⑤ その他	円	0	0	0	0		0
	支出合計 (A)	円	200,360,000	151,289,640	89,826,760	87,417,360	-42.2%	280,000,000
財源内訳	① 国庫支出金	円	0	0	0	0		39,000,000
	② 県支出金	円	0	0	0	0		0
	③ 地方債	円	99,900,000	93,500,000	45,000,000	64,319,663	-31.2%	213,000,000
	④ その他（使用料、雑入等）	円	100,460,000	57,789,640	44,826,760	23,097,697	-60.0%	28,000,000
	⑤ 一般財源	円	0	0	0	0		0
	収入合計	円	200,360,000	151,289,640	89,826,760	87,417,360	-42.2%	280,000,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	8	8	8	8	0.0%	8
	② 年間所要時間	時間	3,000	3,220	3,220	3,220	0.0%	3,220
	③ 人件費（②×@ 4,400円）(B)	円	13,200,000	14,168,000	14,168,000	14,168,000	0.0%	14,168,000
	総費用 (A+B)	円	213,560,000	165,457,640	103,994,760	101,585,360	-38.6%	294,168,000

5 取組内容	平成28年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	中央通りの老朽化した鋳鉄管や江口地区の塩化ビニル管、漏水の多い石垣の塩化ビニル管を集中的に工事を実施した。	

6 評価	評価の視点	H27評価	H28評価	評価項目	評価結果	評価の理由		
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である		
目的の妥当性					1 妥当である			
対象の妥当性					1 妥当である			
有効性	有効性	B	B	目標達成度	2 目標どおり			計画的に管路更新率、耐震化率の向上を計っている。
				類似事業の有無	1 なし			
				上位施策への貢献度	2 普通			
効率性	効率性	B	B	コスト効率	1 高い			コストの安いポリエチレン管の導入を進める。
				実施主体の適正化	1 適正である			
				負担割合の適正化	2 改善の余地あり			
	1次評価（課長総括）	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要		
	今（課後）の評価結果及び	・「魚津市水道事業経営計画」を改訂し、引き続き計画的に実施していかなければならない。 ・国で新たに老朽管の更新に係る補助制度が創設されたので、これを活用する。				評価結果		

1 基本項目	事務事業名	拡張事業			担当部署	課名	水道課	
	予算事業名	拡張事業				係名	工務係	
	事務区分	自治事務				電話番号	23-1014	
	事業期間	開始年度	平成16年度	終了年度		平成29年度	会計	水道企業会計（資本的支出）
	総合計画	目標名	基本目標2. 安全で快適な暮らしやすいまち			科目	資本的支出	
	画	政策名	政策07. 魅力ある都市基盤の充実			項目	建設改良費	
		施策名	施策17. 水道水の安定供給			目	拡張事業	
		基本事業名	基本事業17-1. 水道施設の整備			総合計画等への記載	総合計画実施計画に記載	
	根拠法令					この事務事業が関連するその他の計画等		
	アウトソーシング導入状況	導入済（業務委託）						

2 事業概要	事業概要	松倉簡易水道の上水道への統合、水道未普及地区の解消、老朽化施設（中央監視施設、計装・機械設備等）の更新及び水源地、高区第1、中区、低区配水池等の増設更新を平成16年度より平成29年度までに、総事業費3,032,400千円で実施する。					
	対象	①松倉簡易水道施設 ②水道未普及地区住民 ③上水道利用者					
	手段（活動指標）	①松倉簡易水道の上水道への統合 ②水道未普及地区への配水管の布設 ③老朽化施設の更新、増設					
	意図（成果指標）	水源地の築造と配水池の増設により、給水能力が上昇し安定して水が供給可能となる。老朽化した監視制御システムなど計装・機械設備の更新を行い、安全安心で安定した水の供給を図る。水道未普及地区の解消を図る。					

3 指標	指標名	単位	H27年度		H28年度			H29年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 当該年度までの水道施設の増設・更新数（計画総数17施設）	箇所	7	7	7	7	100.0%	7
	② 当該年度までの配水管の布設延長（計画延長22.810M）	m	20,200	19,443	21,540	20,418	94.8%	22,212
	③							
成果指標	① 当該年度までの水道施設の増設・更新進捗率	%	41	41	41	41	100.0%	41
	② 当該年度までの配水管の布設の進捗率	%	89	85	94	90	95.7%	97
	③							

4 コスト情報	区分	単位	H27年度		H28年度			H29年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円	200,000	0	0	0		0
	②委託料	円	8,304,400	972,000	19,078,867	19,078,867	1862.8%	10,000
	③工事請負費	円	227,164,000	161,556,240	550,239,840	531,788,760	229.2%	130,000
	④負担金補助及び交付金	円	2,000,000	0	1,000,000	0		0
	⑤その他	円	37,543,000	25,139,954	37,072,533	28,774,146	14.5%	0
	支出合計 (A)	円	275,211,400	187,668,194	607,391,240	579,641,773	208.9%	140,000
財源内訳	①国庫支出金	円	0	0	0	0		
	②県支出金	円	0	0	0	0		
	③地方債	円	275,211,400	187,668,194	505,800,000	486,480,337	159.2%	140,000
	④その他（使用料、雑入等）	円	0	0	101,591,240	93,161,436		
	⑤一般財源	円	0	0	0	0		
	収入合計	円	275,211,400	187,668,194	607,391,240	579,641,773	208.9%	140,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	7	7	7	7	0.0%	7
	②年間所要時間	時間	2,500	2,800	2,800	2,800	0.0%	2,800
	③人件費（②×@ 4,400円）(B)	円	11,000,000	12,320,000	12,320,000	12,320,000	0.0%	12,320,000
	総費用 (A+B)	円	286,211,400	199,988,194	619,711,240	591,961,773	196.0%	12,460,000

5 取組内容	平成28年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容					
	水道管の口径が小さく給水量に余裕がない升田・吉島地区へ安定した給水をするため、配水管を布設した。					

6 評価	評価の視点	H27評価	H28評価	評価項目	評価結果	評価の理由			
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である			
目的の妥当性					1 妥当である				
対象の妥当性					1 妥当である				
有効性	有効性	B	B	目標達成度	1 高い	六郎丸低区配水池を整備した。			
				類似事業の有無	1 なし				
				上位施策への貢献度	2 普通	人口減少を見ながら規模縮小する。			
効率性	効率性	B	B	コスト効率	1 高い	六郎丸低区配水池を整備した。			
				実施主体の適正化	1 適正である				
				負担割合の適正化	2 改善の余地あり	水道料金の増額を検討する。			
	1次評価（課長総括）	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要			
	今（課後）の評価結果及び課題	「魚津市水道事業経営計画」を改訂し、引き続き、計画的に実施していかなければならない。				評価結果			

1 基本項目	事務事業名	ボトルウォーター事業				担当部署	課名	水道課
	予算事業名	収益的収支					係名	業務係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1013
	事業期間	開始年度	平成22年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	水道事業会計（収益的支出）
	目標名	基本目標5. 豊かな自然と共生したまち					会	水道事業費用
	政策名	政策12. 自然環境の保全・継承					款	営業費用
	施策名	施策34. 水と緑の保全と活用					項	総係費
	基本事業名	基本事業34-1. 水循環の保全				目	目	総係費
根拠法令					総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載	
アウトソーシング導入状況	導入予定なし				この事務事業が関連するその他の計画等		—	

2 事業概要	事業概要	魚津の資源である「水」をPRを目的に事業をスタート。また特色として、売上げの一部（一本あたり10円）を環境保全基金に積立している。
	対象	①環境保全 ②観光客、市民、市外在住者
	手段（活動指標）	①売上げの一部を環境保全基金に寄附する。
	意図（成果指標）	①環境が保全される。

3 指標	指標名	単位	H27年度		H28年度			H29年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 環境保全基金への積立額	円	230,000	185,540	200,000	199,280	99.6%	200,000
	② ボトルウォーター出庫額	円	1,965,600	1,166,095	1,641,600	1,323,382	80.6%	1,641,600
	③							
成果指標	① 水循環が保全されていると思う市民の割合	%	60.0	55.1	64.0	53.8	84.1%	68.0
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	H27年度		H28年度			H29年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	0	0	0	0		0
	② 委託料	円	0	0	0	0		0
	③ 工事請負費	円	0	0	0	0		0
	④ 負担金補助及び交付金	円	0	0	0	0		0
	⑤ その他	円	1,641,600	0	1,641,600	1,307,733		1,641,600
	支出合計 (A)	円	1,641,600	0	1,641,600	1,307,733		1,641,600
財源内訳	① 国庫支出金	円	0	0	0	0		
	② 県支出金	円	0	0	0	0		
	③ 地方債	円	0	0	0	0		
	④ その他（使用料、雑入等）	円	1,641,600	0	1,641,600	1,307,733		1,641,600
	⑤ 一般財源	円	0	0	0	0		
	収入合計	円	1,641,600	0	1,641,600	1,307,733		1,641,600
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	40	40	40	40	0.0%	40
	③ 人件費（②×④ 4,400円）(B)	円	176,000	176,000	176,000	176,000	0.0%	176,000
	総費用 (A+B)	円	1,817,600	176,000	1,817,600	1,483,733	743.0%	1,817,600

5 取組内容	平成28年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	平成28年6月にボトルウォーターを20,016本を製造し、販売した。	

6 評価	評価の視点	H27評価	H28評価	評価項目	評価結果	評価の理由		
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である		
目的の妥当性					1 妥当である			
対象の妥当性					1 妥当である			
有効性	有効性	B	B	目標達成度	2 目標どおり			
				類似事業の有無	1 なし			
				上位施策への貢献度	2 普通			
効率性	効率性	C	C	コスト効率	3 低い			
				実施主体の適正化	2 改善の余地あり			
				負担割合の適正化	2 改善の余地あり			
	1次評価（課長総括）	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要		
	今後の課題及び評価結果	今後は、モンドセレクション最高金賞受賞も加えて、販売促進につなげ、「うおづのうまい水」の知名度を高めながら、水循環の保全、地域紹介のツールとして活用していく。			評価結果			